

第 15 期 pES club シナリオ 2

平成 28 年 3 月 5 日
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 薬剤部
五十嵐 俊
東京北医療センター 総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巣医科大学附属病院の門前にある虎久蘭調剤薬局に勤務する 2 年目の薬剤師です。大学病院の総合診療科を受診してインフルエンザと診断された風波弥太郎 (21 歳, 男性) さんが処方せんを持ってやってきました。

処方内容

Rp 1) カロナール錠	200mg	2 錠	10 回 分
発熱時・頭痛時	頓用		

あなたは、調剤を終えた薬を風波さんに渡し、服薬説明を始めました。

あなた「本日は解熱鎮痛薬が出ています。こちらがカロナールといって・・・」

風波「ちょっと待って、薬はこれだけなの？」

あなた「はい、先生からの処方はこの薬だけとなっていますよ」

風波「そんなことは無いはずだ！インフルエンザなんだからタミフル®くらい出でしょ普通は。何かの間違えだから、先生に聞いてみてよ。．．．っとにしようがねーな」

あなたは、処方医である総合診療科の楠力雷先生に問い合わせました。

あなた「本日、先生に受診された風波さんについてお尋ねしたい事があるのですがよろしいでしょうか」

楠力「ああ、今朝受診したインフルエンザの患者さんですね」

あなた「はい、本日はカロナールのみのご処方ですが、抗インフルエンザ薬は不要でしょうか。風波さんはタミフル®の処方をととても強くご希望されている様子なのですが．．．」

楠力「あの人にはタミフル®は必要ないよ。水分を摂って良く休むように伝えて下さい」

あなた「でも、タミフル®が無かったことにかかなりご立腹で．．．」

楠力「風波さんにはタミフル®の効果が期待できないので出しません。そこも含めて薬剤指導をよろしくお願いします」

あなた「あ、はい．．．」

あなたは問い合わせの結果を伝え、やはりタミフル®は出ないことを伝えると、風波は激怒して「役に立たない薬剤師だな、こんな薬局もう二度と来ない。SNS にぶちまけてやる！」と捨て台詞を言い残し、薬も受け取らずに帰ってしまいました。そこに奥から先輩が飛んできました。

先輩「あらら、間に合わなかったか。なんか様子がおかしいなと思ったんだよ」

あなた「・・・」

先輩「患者さん怒って帰っちゃったね。今日みたいな時どうすれば良かったのかな。風波さんに本当にタミフルが必要なかったのか、まずはきちんと勉強してみようか」

あなたはインフルエンザに対するタミフル®の効果について調べてみることにしました。